

プレス関係各位

【新作展示会のご案内】

LE KLINT Exhibition 2022-2023

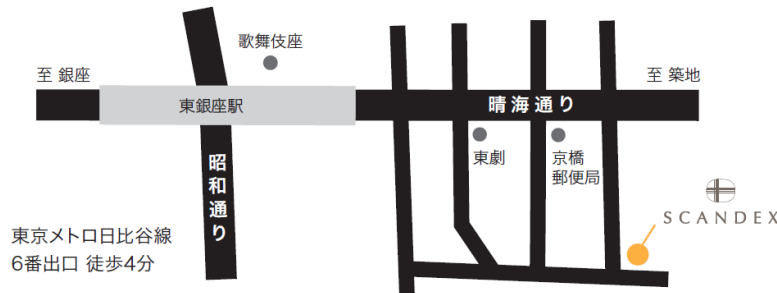
株式会社スキャンデックスは、2022年10月24（月）～27日（木）において、レ・クリントの新作展示会を開催いたします。

2023年に創業80周年を迎える、デンマークを代表する王室御用達の照明ブランド、レ・クリント。日本でも家で過ごす時間が増えたことをきっかけに、照明を見直し、心地よいと感じるあかりを取り入れる方が増えています。今回の展示会では、2023年発売予定の新作にとどまらず、伝統からモダンまでの幅広いラインナップ（約80種）を一堂にご覧いただけます。ご多忙の折恐縮ですが、是非ご来場賜りたく、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

記

LE KLINT Exhibition 2022-2023

日時： 2022年10月24日（月）-10月27日（木）10：00-17：00 ※土日除く
場所： スキャンデックス ショールーム
東京都中央区築地 4-4-12 OS 築地ビル 3F



ご来場いただける場合は、大変お手数ですが、下記担当宛にメールにて、**10月21日（金）17:00**までにご返信くださいますようお願い申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、完全予約制で実施させていただきます。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
株式会社スキャンデックス マーケティング&PR：泉 寛子
MAIL：izumi@scandex.co.jp
TEL：03-3543-3453

① LE KLINT 2023 新作を初披露



今回の LE KLINT 新作展示会では、2023 年に日本発売予定の新作《プリヴェッコ》と、新色《ドーナツ ブラス》を初披露いたします。

《プリヴェッコ》の呼び名はフランス語で「折り」を意味する「PLI」と、イタリア語で「上下の重なり」を意味する「LEVELLO」を融合したものです。デザイナーのクリスチャン・トロエルスは、前世紀の伝統的なシャンデリアからインスピレーションを得ました。

レ・クリントの手仕事による伝統の折りはそのままに、新しく、美しいインスタレーションのような使い方もできる照明が完成しました。遠目にはシンプルに見えますが、シェードの内部はゴールドのアーチとフレームが支えていて、見れば見るほどに味わい深いデザインです。シェードの素材は、ペーパーのみ。環境への問題意識が高いヨーロッパでは、紙素材に回帰する動きがあります。4 サイズの展開のため、一般住宅の他、コントラクト市場向けとして、ホテルやレストラン等の様々な空間を照らしてくれることでしょう。

《ドーナツ ブラス》は、レ・クリントの照明の中で最も細かな折りが特長で、従来のシルバーに、新色のブラスが追加されます。

伝統の折りと手仕事に、新しい解釈を加えた照明は、その真ん中に穴が空いた形から《ドーナツ》と名付けられました。《ドーナツ ブラス》は、シェードの上下に取り付けられたブラスのプレートが反射することで、暖色系の温かみのある光を放ちます。また、コードに付けられたブラスのパイプがアクセントとなり、カジュアルな印象の中にもエレガンスを醸し出し、優美な空間を演出してくれます。



② デザイン 70 周年を迎えた、ブラケットランプの展示



デンマークではレ・クリントの代名詞ともなっているブラケットランプ。1952年にエリック・ハンセンが自邸のためにデザインしたのが始まりです。木製でできた伸縮するアームに合うシェードを探していたところ、レ・クリントの手折りのシェードに魅了され、レ・クリントで製品化されました。北欧では寝室やリビングの壁面に設置して、機能とデザインの両方を楽しめる照明として、多くの家庭で愛用されています。唯一無二のデザインとして、日本でも改めて注目されているシリーズです。

レ・クリント社の CEO であるキム・ウェクストローム・イェンセンは、本展示会の開催にあたり、以下のメッセージを寄せています。

「私たちレ・クリントは、創業以来、デンマークでの製造を守り続けています。デンマーク製にこだわるからこそ、私たちデンマーク人が大切にしているヒュッゲなあかりを生み出すことができると信じています。この美しくヒュッゲなあかりが、日本の皆さまの心を潤すことを願っております。デンマーク本社のショールームさながらの日本のショールームで、ぜひゆったりとした時間をお過ごしください。」

About LE KLINT

1943年に設立された、デンマークを代表する王室御用達の照明ブランド、レ・クリント。創業当初からデンマークの工房で、デザインや技術のDNAを守り続けながらも、現代の人の暮らしに寄りそうあかりを、職人の手仕事によって生み出し続けています。

LE KLINT

DESIGNART TOKYO 2022

レ・クリントは、DESIGNART TOKYO 2022 に出展する佐賀発の家具ブランド ARIAKE（アリアケ）に、照明協力をさせていただきます。

ARIAKE は、国内外のデザイナーを起用し、木造建築の構造からインスピレーションを得たり、家具の染料には藍や墨汁を使ったりするなど、日本の伝統的な技法を用いながらも先鋭的なデザイン家具を発信しています。

同じく日本文化から影響を受けたレ・クリントの照明。今回のコラボレーションでは、日本家具の中に浮かび上がる伝統的な折りの照明と、テクノロジーの融合が織りなす光のインスタレーションをお楽しみいただけます。

「和魂洋才、陰翳礼讃をテーマに西洋の文化を織り交ぜ、日本の伝統と美意識をアンリアルな世界観で表現。光、音、香りといったエッセンスが五感に訴えるエキシビションを展開する」と語るのは、会場のスタイリングを手がける竹内優介氏（Laboratory）。独創的な空気感を、ぜひご体感ください。



ARIAKE with LE KLINT, Bang & Olufsen, Belair Lab

日時： 2022年10月21日（金）～30日（日） 12:00～18:00（最終日は16:00まで）

場所： HIRATA CHAIR TOKYO
東京都港区南青山 4-1-15 #103
※予約不要

ARI
AKE
有明

About ARIAKE

家具の町、佐賀県諸富町にあるレグナテック株式会社と平田椅子製作所が立ち上げた家具ブランド《ARIAKE COLLECTION》。九州にある有明海にちなんで名づけられた「Ariake」とは、日本語で夜明けを意味し、グローバル市場を目指し、海外デザイナーたちとのコラボレーションを開始した二社の新しい幕開けを象徴しています。

About HIRATA CHAIR

家具職人の町、佐賀県諸富町にある木製椅子メーカー。1963年の創業以来、「かたらいのしたに、いつも。」をコンセプトに、家庭用椅子からソファ、コンラクトチェアを製造。近年では、同郷のレグナテック社と共に家具ブランド「ARIAKE」を立ち上げ、世界に向けて発信中。FSC 認証木材や化学物質の少ない素材の採用、佐賀県の間伐材を利用した机と椅子を地元の小学校に納品するなど、環境保全と地域貢献に努めています。

HIRATA CHAIR